

2020年3月12日

2020年2月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は株主招集通知関連、学参テキスト関連は前年並み以上の動きが見られたが、全体を押し上げるには至らず前年を下回った。

（前年比 97.0%）

巻取は金融、生損保関連の仕事が一部見られたもののチラシ関連を中心に仕事量減少に歯止めがかからず、前年を大幅に下回った。

（前年比 83.5%）

再生紙平判は大口定期物件受注が全体を押し上げ8ヶ月連続で前年を大幅に上回った。

再生紙巻取は在庫不足による引き合いの減少が定着して一般品扱いになった銘柄もあるが、役所関連入札物件の減少が響き10ヶ月連続で前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 114.7% 再生上質巻取 66.1% 再生上質計 91.8%）

（前年比 印刷用紙A 93.9%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保、官公庁関連等で動きがあったものの、web化による部数及び印刷案件の減少とコロナウイルスによる各種イベントの延期、中止等の影響もありグロス紙、マット紙とも前年を下回った。

巻取は教育関係、株主招集通知等で一部動きはあったものの、平判同様web化に伴う部数及び印刷案件の減少とコロナウイルスによる各種イベントの延期、中止等の影響でグロス紙、マット紙とも前年を下回った。

（前年比 平判 88.9% 巻取 92.9% 全体 89.9%）

<A3 コート>

学習塾、予備校、有料老人ホーム等定期案件の動きはあったものの、継続的な紙離れの影響でチラシを中心とした印刷案件の減少により前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 90.8% 巻取 70.1% 全体 77.8%）

<ノーカーボン紙>

生損保関連の動きが一部見られたものの、その他新規案件も無く一般の動きも非常に弱く巻取については前年を大きく下回った。

（前年比 平判 93.5% 巻取 83.9%）

<上質フォーム>

生損保関連、金融、官庁関連はじめ一般の動きが弱く新規案件の取り込みも無く前年を下回った。

（前年比 93.9%）

<包装用紙>

片艶晒は金融証券、保険関係、電信電話会社返信封筒用途での動きがあり前年を上回った。

(前年比 109.7%)

その他に関しては全体的にインバウンド需要の減少やイベント等の中止余波で外出を控えることなどによる消費低迷により動きが低調で、特殊両更(前年比 84.1%)、軽包装(前年比 80.8%)、両更晒(前年比 84.6%) 純白ロール(前年比 97.6%)と各種軒並み前年を下回った。

包装紙全体で 86.3%と前年を下回った。

<板紙>

春需に向けての POP や化粧品関連は動きが悪く低調であった。

食品関係や日用雑貨なども低調、インバウンドも減少している状況で土産物も動きが悪かった。

昨年の動きが鈍かった為、対前年を上回っているが力強さは感じられない。

(前年比 107.8%)